

※新型コロナウイルス・インフルエンザ等感染症予防・対策のため※

- ★高熱や咳の症状など、体調の優れない方のご参加はご遠慮ください。
- ★会場入口にて検温・消毒を実施いたします。必ずマスクをご着用いただき、ご来場ください。
- ★万が一に備え、受付にてお名前・ご所属・ご連絡先をご記入いただきます。

感染拡大予防のため、ご理解・ご協力の程、何卒よろしくお願い申し上げます。

東京の日本語教育 を考えるつどい 2022

「外国につながる子どもの学びを支える～
地域でできること～」

とき：2022年5月14日(土) 午後1時～4時半
(開場12時半)

ところ：東京しごとセンター 地下2階講堂
(千代田区飯田橋3-10-3)
(JR飯田橋7分、東京メトロ飯田橋3分)

資料代：1000円(学生700円)

国・自治体の責務などを定めた「日本語教育の推進に関する法律」が2019年6月に成立しました。

しかし、全国での日本語教育の整備はまだ不十分で東京も例外ではありません。ただ、地域によっては、行政と民間関係者等の協力関係が進み、外国につながる子どもたちのための日本語教育を中心とした条件整備が進んでいるところもあります。

今回は、足立区教育委員会とNPOのご協力により、足立区での積極的な取組を両面から報告して頂きます。また今年も当事者の体験発表があります。

参加申込不要

プログラム

- 13:00～13:25 主催者あいさつ 都議会議員ご挨拶 1年間の取り組み
- 13:25～14:05 講演「足立区における日本語教育の支援について」
足立区教育委員会 統括指導主事 堀谷 援(ほりや たすく)氏
- 14:05～14:10 質疑
- 14:10～14:20 ===== 休憩 =====
- 14:20～14:50 報告「足立区における YSC グローバル・スクールの取り組みと地域での動き」
平野成美氏(NPO 法人青少年自立援助センター 定住外国人支援部 多文化コーディネーター)
- 14:50～15:10 体験談 ナウサ バサンティさん《ネパールより来日。2020年田柄高校卒業。
中野区立老人ホーム正規介護職員。》
- 15:10～16:10 全体討論
- 16:10～16:30 閉会ごあいさつ(アンケート回収)



会場案内

東京しごとセンター(千代田区飯田橋 3-10-3)



☆飯田橋から JR 中央・総武線 東口徒歩 7 分 東京メトロ東西線 A 5 出口 徒歩 3 分
都営地下鉄大江戸線 東京メトロ有楽町線・南北線 A 2 出口 徒歩 7 分

☆水道橋から JR 中央・総武線 西口 徒歩 5 分

☆九段下駅から 東京メトロ東西線 7 番出口 徒歩 8 分

東京メトロ半蔵門線・都営地下鉄新宿線 3 番出口 徒歩 10 分

※感染症拡大や東京都の方針変更などの情勢の中で、やむを得ず中止・プログラム変更の可能性もございます。開催の可否や変更については当会、以下記載の HP でご確認ください。

⇒「東京の日本語教育を考える会」<http://tokyo-nihongo.sakura.ne.jp/>

* 呼びかけ人 * (敬称略・順不同)

石井恵理子(東京女子大学)、関口明子(公益社団法人国際日本語普及協会 AJALT)

新居みどり(ピナット子ども学習支援教室)、小池由樹(CCS/世界の子どもと手をつなぐ学生の会)

野山広(国立国語研究所)、李原翔(かながわあーすぶらざ外国人教育相談)

栢木典子(認定 NPO 法人 多文化共生センター東京)、横山文夫(NPO アイネット・エデュケーションズ)

小林普子(NPO 法人 みんなのおうち)、中山眞理子(NPO 多文化子ども自立支援センター)

主催 東京の日本語教育を考える会 代表・中山眞理子 (090-8103-7497)